

会長挨拶

日本小児歯科学会関東地方会  
第18代会長 早川 龍



関東地方会の皆様におかれましては、いつも会務にご尽力を賜り感謝申し上げます。早川が執行体制についてからこの3月で4年になります。会長に就任し初年度の33回大会は、宇都宮におきまして北日本地方会と初めての合同大会となりました。他の地方会におきましても行ったことのない合同大会は、栃木県歯科医師会の先生方にも大変なご尽力を賜り、盛会裏に開催することができました。34回大会は文京区のシビックホールにて通年と同じく開催することができました。そして新型コロナの影響で35回大会の年は中止、また36回はWeb開催を余儀なくされました。

36回のWeb開催は初めての経験で、準備の会議もリモートで行い、通年では考えられない難しいものがありました。しかしながら、いざ開催しオンデマンドにて約2週間の視聴を可能としたところ、すべてのセッションの視聴をすることができ、モニターの先生方からも、居ながらにして参加できたことに好評を頂くことができました。さらには会場と、Webによるハイブリッド開催についてのご要望も多くいただいたところです。今後どのような形で大会が開催できるのか、ハイブリッドも含め検討してまいります。

令和4年度地方会大会は、開催ができなかった35回大会の内容を今年10月16日取手にて開催できるよう、準備を進めております。地方会HPにて順次内容を掲載してまいります。

さてこの4年間ですが、会務を執行するにあたり、一番大切にしてきたことは、すべての事業において、誰のために行うのかを考えてまいりました。大変当たり前のことですが、誰のためなのかは「子どもたち」であります。その目的を達成するために、間接的には学会会員のために、ということもあるかと思えます。会員以外でも大会に参加して下さる皆様が、明日からの臨床において子どもたちに、さらなる良質な医療提供が可能となるような内容を含むことも、地方会の責務であると考えます。残念ながら近年、子どもを集客することによる、患者獲得のための好ましいとは思えないセミナー等の広告が私のところにも届きます。このような事柄は、学会自身での直接的な対応は不可能です。私たちは真の子どもに対する医療を通して、懐疑的な医療と差別を図ることが道理であると考えます。学会は患者獲得を目指した、迎合するかのような医療展開を決して許してはおりません。その点では会員の皆様が、そのような企業の経営を助けるような行動をとらないことも大切なことであり、子どものためにどのような医療展開をすべきなのか、それを見極めることも私たち、また会員の皆様の責務であるとも考えます。安易な医療はなく、基本を忘れることなく、亜流に流されないことも同様であると考えます。

私は一人の小児歯科医として、また関東地方会の役員として、今後役員を卒業しても、何のために何をす

るのか、大切にしたいと思います。私たち学会の主役は「子ども」であり、会員でも役員でもありません。将来私が専門医という立場を外れたとしても、私が歯科医療を提供している限り、何のために、誰のためには決して忘れないことを肝に銘じたいと思います。

最後になりますが、世の中にこのようなことが本当に起きるのか、ということをお願いされた感染症が継続しております。一人では決して何もできないことも、二人、三人、多くの人が集まれば、その役割分担のなかで大きな目標を遂げることが可能となります。一人ひとりが謙虚な気持ちで、多くの人の意見を聞き、正しい道を進んだ結果、現在の感染症との戦い方が分かってきました。私たちは謙虚であり、目的を失わず、力を合わせて、歯科医療を通じて感染症予防等にも、啓発を続け、子どもたちの役に立ちたいと考えております。そのような意味でも、一人ひとりの学会活動は大変重要だと思います。

4年間、本当にありがとうございました。そして今後とも子どもたちのために、4月より浜野美幸新会長と共に、学会活動に多大なご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第36回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会を終えて

第36回大会大会長 巢瀬 賢一

約2年前、大会長のお話をいただき、私のような者がそのような大役を果たせるか重責に困惑しました。それでも早川会長をはじめ、関東地方会幹事の先生方の応援をいただき拝命いたしました。「どうする小児歯科～患児を取り巻く多様性への対応を考える～」をメインテーマに日本小児歯科学会第36回関東地方会大会・総会を令和3年10月17日(日)に埼玉県川西市ウェスタ川越にて開催することが決定いたしました。小児歯科に携わるすべての方々に、社会や情報などが目まぐるしく変化している昨今、小児歯科としてどのように対応して行くか、どのように心構えをしておくかを考えようと企画いたしました。

しかし、準備開始と合わせるように広がり始めた新型コロナウイルス感染の状況は悪化の一途をたどり、令和3年度の全国大会および地方会の開催方法は、すべてWeb開催となりました。前例のない開催形態に困惑しながらも、準備委員長の吉中先生を中心に、準備委員の先生方に尽力していただき大会開催となりました。

基調講演は、明海大学歯学部形態機能育成学講座口腔小児歯科学分野 星野倫範教授に「日々の歯科

診療などから得られる気づきと発想の転換」の演題でご講演いただきました。先生の臨床経験より、書籍に載らない歯科診療時の発想の転換や気づきを、これからの小児歯科臨床へどのように繋げていくかをお話ししていただきました。

特別公演は、長崎大学医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 田上直美准教授に「患者の多様性に応じた歯科治療の選択肢とは」の演題で小児歯科医だからこそできる成人の治療、特に有病者、障害者、高齢者の治療についてお話しいただきました。

臨床講演は、東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科小児歯科学分野・障害者歯科学分野 岩本 勉教授に「子ども達におけるオーラルヘルスリテラシー育成の重要性」の演題で、これまでの保健に関する情報から今後私たち小児歯科医が何を捉え取り組むべきかをお話ししていただきました。

教育講演は、弁護士法人小畑法律事務所 北海道医療大学客員教授 日本小児歯科学会顧問弁護士 小畑 真先生に「増加する小児歯科領域における法律トラブル」の演題で小児歯科領域特有の法的トラブルの実情と注意点について解説いただきました。

認定歯科衛生士地方会研修セミナーは、文教大学

教育学部教授・小児科専門医・公認心理士・子育て科学アクシス代表 成田奈緒子先生に「子どもの発達のカギを握る『正しい睡眠』」の演題で、子どもの発達が睡眠習慣の改善により状態像が大きく変わった事例などから、このコロナ禍に大人が子どもにどのように関わりを持つべきかをお話ししていただきました。

協賛セミナーAとして、千葉歯科医院 浜野美幸先生に「親子で取り組む サステイナブルな口腔保健を進めるために—デンタルガム（ポスカF）と口内ケアタブレット（ブレオ）を口腔機能向上と感染症に活かす—」の演題で感染予防や口腔機能向上のためにデンタルガムなどを応用してデンタルリテラシー向上につなげていくトレーニング法などをお話ししていただきました。

協賛セミナーBとして、ライオン株式会社研究開発本部グローバル開発センター主任研究員 蜂須賀良祐先生に「まがる・おれない安全歯ブラシはなぜ折れずに磨けるか？～子どもの喉突き事故を防ぎたい想いが生んだ、歯ブラシに隠された秘密～」の演題で歯ブラシ事故への予防対策として曲がるのに

折れない歯ブラシの一般的な歯ブラシとの比較など解説をいただきました。

協賛セミナーCとして、とき歯科 土岐志麻先生に「一人の子どもに多くの力を合わせるとき！～材料の力も借りてみよう～」の演題で、口腔清掃などで使用する材料に関してその能力を最大に発揮するための正しい使用法などをお話ししていただきました。

研究者の集いとして、明海大学歯学部、日本大学歯学部、神奈川歯科大学の各講座よりプレゼンテーションをしていただきました。

特別企画として、関東9歯科大学による—各大学における感染予防対策—を、他に、社会保険委員会企画1題、一般演題26題が発表されました。

参加登録は約600人で、興味深く参考になった、面白い視点だった、など評価をいただきました。

最後に、後援をいただいた埼玉県歯科医師会、川越市歯科医師会、所沢歯科医師会の関係者の皆様、広告としてご支援を頂きました多数の方々、また2年近くにわたり準備にご尽力下さった準備委員や口腔保健協会事務局の方々に重ねて厚くお礼申し上げます。



# 第 37 回日本小児歯科学会関東地方会大会 および総会開催のご案内

大会メインテーマ：地域小児歯科の Level Up！

日 時：令和 4 年 10 月 16 日（日）  
場 所：取手市民会館・福祉会館  
大 会 長：田中晃伸  
準備委員長：富永真澄，萩原洋子

## 大会長挨拶

2 年間近くに及ぶ新型コロナの“禍”によって、制限と苦痛な生活様式を強いられました。その一方で、学会や講演会におきましては新しい方法が模索され、極めて簡便な Web 方式で時間・労力といった物理的な問題が解消されました。これは従来の対面方式をアナログとすれば Web 方式はデジタルと言い換えることができると思います。

37 回大会に関しましては、現段階では極めてアナログな対面方式を前提に計画しております。

地方会が対面方式にこだわる理由のひとつとして、やはり地域の小児歯科医療の活性化であり、地域で開業されておられる先生方に小児歯科に関わる情報や知識に触れていただきたいという思いであります。ゆえに現在まで各県で持ち回り行われている訳であります。

本年は、約 20 数年ぶりの茨城県での開催であります。中止となりました 35 回大会にもまして、地方会ならではの様々の企画を計画しております。

また、本年の地方会開催におきましては学会参加費が無料となっております。このような閉塞停滞感が続いたからこそ、会員の皆様への還元事業のひとつと考えております。

一日のみではありますが、色々な企画を準備しておりますので、是非、明日からの臨床に役立てていただければ幸いです。

大 会 長 田 中 晃 伸

## 【大会内容】

### 基調講演

「口腔機能の発達と低下」

昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門  
教授 弘中 祥司 先生

### 特別講演 I

「小児歯科医として知っておくべき全身状態の基礎知識」

大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子感染制御学講座（小児歯科学教室）  
教授 仲野 和彦 先生

## 特別講演 II

「日本の口腔がん事情 — AYA 世代の口腔がんを考える —」

東京歯科大学  
名誉教授（口腔外科客員教授） 柴原 孝彦 先生

## 臨床講演

「子ども虐待のみかた～虐待のない世の中を目指して私達医療者にできること～」

松戸市立総合医療センター 小児科  
小橋 孝介 先生

## 認定歯科衛生士 地方会研修セミナー

「障害児歯科診療のススメ！」

日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座  
教授 野本 たかと 先生

## 研究者の集い

### 企業セミナー

第 37 回大会でも企業さまが提案するセミナーを企画しました。午前，午後の 2 回を開催予定。

### ランチョンセミナー

### ポスター展示

1. 特別企画 関東 9 大学によるポスター発表  
「当科における患者配布資料について」
2. ポスター発表
  - (1) 一般演題発表
  - (2) 認定歯科衛生士 資格申請発表
3. 資格更新用ケースプレゼンテーション
  - (1) 専門医・認定医 資格更新用プレゼンテーション
  - (2) 認定歯科衛生士 資格更新用プレゼンテーション

### 商業展示

### 懇親会

大会参加者ならび出展業者様など，どなたでもご参加いただけますので，皆様のお越しをお待ちしております。

会費 1,000 円

## 日本小児歯科学会関東地方会 令和 3 年度総会について

### I. 議案

－令和 2 年度 事業の承認

(令和 2 年度：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

- 幹事会オンライン開催  
2020年5月3日, 7月24日, 9月22日, 11月25日, 2021年2月24日 (計5回開催)
- 第35回地方会大会および令和2年度総会中止  
令和2年10月25日 (茨城県)
- モニター会議オンライン開催  
令和2年10月25日
- 関東9歯科大学小児歯科学講座・分野との懇談会開催  
令和3年1月18日 (オンライン開催)
- 各種委員会開催
- 関東9大学小児歯科所属の先生によるWebセミナー開催  
令和3年2月14日 (2演題), 令和3年3月14日 (3演題), 3月28日 (4演題)
- 公益社団法人日本小児歯科学会理事会出席  
(理事会) 第248回 令和2年4月30日 (書面)  
第249回 令和2年5月29日 (書面)  
第250回 令和2年9月6日 (書面)  
第251回 令和2年12月13日 (オンライン)  
第252回 令和3年3月7日 (オンライン)
- こどもの健康週間2020パンフレット発行  
(令和2年10月)
- 会報第35号発行 (令和3年2月26日)
- 関東地方会ホームページのリニューアル

— 令和2年度 会計決算 承認および監査報告

令和2年度日本小児歯科学会関東地方会・会計決算報告

自 2020年4月1日  
至 2021年3月31日

科目		決算額	備考	
I 収入の部	会費収入	入会金	0	
		会費収入	0	
		賛助会費収入	0	
	事業収入	大会収入	670,000	第35回関東地方会大会収入合計
		広告収入	0	雑誌, ホームページ, ニュースレター等の広告 ※地方会大会のプログラム等の広告は大会収入
寄付金収入	寄付金収入	2,230,520	本会会計からの補助金	
雑収入	受取利息	0		
	雑収入	0		
当期収入合計 (A)		2,900,520		
II 支出の部	事業費	会誌刊行費	960,982	会誌第34号, 会誌第35号発行
		大会補助金	246,000	第36回地方会大会への補助金
		大会事業費	80,743	第35回地方会大会支出合計
		関東地方会主催WEBセミナー	380,000	関東地方会主催によるWEBセミナーの開催
		関連団体年会費	0	
		表彰費	0	
	什器備品減価償却額	0		
管理費	各種委員会費	22,000	委員会関係支出 ※セミナー, シンポジウムを含む	
	本部会議費	22,110	役員会開催費 (Zoom 会議)・出張費・慶弔費等	
	事務費	10,441	印刷費・通信費・消耗品・雑費等	
	ホームページ運用費	691,450	年間管理料, リニューアル HP 制作費	
特別支出	寄付金支出	2,554,063	本会会計に返金	
予備費	予備費	0		
当期支出合計 (B)		4,967,789		
当期収支差額 (A) - (B)		-2,067,269	本会から補填	

## 事業ならびに会計監査報告

令和2年度の事業及び決裁書類・会計書類等の閲覧および照合を行いました。その結果、正しく遂行されたことを証します。

令和3年3月31日

監事 田中 晃伸  
監事 田中 英一

－令和3年度 事業計画案 承認

令和3年度 事業計画案

(令和2年度：2020年4月1日～2021年3月31日)

- 幹事会および4役会の開催
- 公益社団法人日本小児歯科学会関連事業への協力
- 日本小児歯科学会第36回関東地方会大会・令和3年度総会の開催
- 関東9大学小児歯科学講座・分野との懇談会の開催
- モニター会議の開催
- 会報（第36号）の発行
- こどもの健康週間事業への参画
- 関東地方会ホームページの運用
- 小児科との連携・協働
- 各地方会および他学会との交流
- 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会・令和4年度総会の準備
- 男女共同参画ならびに地区小児歯科標榜医への啓発
- ジョイント4への参画  
(公益社団法人日本小児歯科学会関東地方会, 口腔衛生関東地方研究会, 一般社団法人日本障害者歯科学会, 日本歯科衛生学会)
- 委員会の開催  
(ジョイント4委員会, 歯科衛生士委員会, モニター委員会, 学術委員会, 学会発表審査委員会, 広報委員会)
- その他, 目的を達成するための活動



令和3年度日本小児歯科学会関東地方会・予算案

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

科目		予算額	備考
I 収入の部	会費収入	入会金 0 会費収入 0 賛助会費収入 0	過年度会費, 本年度会費
	事業収入	大会収入 5,180,000 広告収入 0	第36回関東地方会大会収入合計 雑誌, ホームページ, ニュースレター等の広告
	寄付金収入	寄付金収入 4,200,000	本会会計からの補助金
	雑収入	受取利息 0 雑収入 0	
	当期収入合計 (A)	9,380,000	
II 支出の部	事業費	会誌刊行費 650,000 大会補助金 350,000 大会事業費 5,180,000 公開講座費 0 関連団体年会費 0 表彰費 0 什器備品減価償却額 0	会誌・ニュースレター等 第37回地方会大会への補助金 第36回地方会大会支出合計
	管理費	各種委員会費 310,000 幹事会議費 400,000 事務費 35,000 ホームページ運用費 210,000 税理士手数料等 0	委員会関連の支出 (セミナー, シンポジウム含む) 役員会開催費・出張費・慶弔費等 印刷費・通信費・消耗品・雑費等
	特別支出	寄付金支出 2,200,000	本会会計へ返金
	予備費	予備費 45,000	
	当期支出合計 (B)	9,380,000	

会員動向

上段: 2021年11月22日現在 下段: 2020年9月15日現在 (名)

	正会員	準会員	名誉会員	会員数合計	専門医 指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科 衛生士
茨城県	77	12	0	89	1	12	2	0
	77	11	0	88	2	13	2	0
栃木県	40	1	0	41	0	4	0	1
	43	1	0	44	0	4	0	1
群馬県	45	2	0	47	0	5	0	0
	39	2	0	41	0	7	0	0
埼玉県	242	24	0	266	8	57	4	7
	242	21	0	263	8	55	3	5
千葉県	219	7	5	231	14	49	1	11
	224	10	5	239	17	56	1	10
東京都	836	71	7	914	43	209	18	7
	816	73	7	896	41	203	20	7
神奈川県	321	43	2	366	17	86	6	9
	311	42	2	355	19	85	6	6
山梨県	20	3	0	23	0	0	0	0
	20	2	0	22	0	0	0	0
合 計	1,800	163	14	1,977	83	422	31	35
	1,772	162	14	1,948	87	423	32	29
全 国	4,568	427	39	5,034	233	1,162	80	145
	4,514	418	36	4,968	237	1,173	84	132



## 令和2～3年度関東地方会役員の承認

会長 早川 龍  
副会長 浜野 美幸 高橋 康男  
幹事長 小方 清和  
会計 伊田 博  
幹事 藤岡 万里 岩下 智  
中村佐和子 巢瀬 賢一  
高野 博子 諸星 孝夫  
谷 博司 関口 五郎  
富永 真澄 草間 里織

吉中 律 熊澤 海道  
権 暁成 関 龍彦  
保田 将史 山崎 優  
島津 貴咲 長弘 茂樹  
監事 田中 英一 田中 晃伸  
顧問 木村 興雄 吉田 昊哲  
井上美津子 井上 雄温  
丸山進一郎

## 委員会報告

### ジョイント4委員会

委員長：藤岡万里

委員：草間里織，熊沢海道，関 龍彦，富永真澄

新型コロナウイルス感染症拡大のために、残念ながら2021年度もやはり開催できませんでした。ほとんどの学会やセミナーが対面開催ではなく、Web開催となりました。Webは便利、すぐ参加できるなどプラスの面も多い反面、その場の雰囲気、熱気などを感じることができない、いろいろな人たちと意見交換ができないなどマイナスな面もあります。

2022年はどうなるのでしょうか。感染拡大も少し収まりつつあると思われたのですが、新たにオミクロン株というものが登場してしまいました。ますます油断できなくなりましたが、前向きに4学会が連携、協力して、「ジョイント4」開催を検討できればと思っています。またその時は、会員の皆様にはお知らせさせていただきます！

「ジョイント4」は臨床経験の長さや職種に関係なく、多職種協働を目的として、未来ある大切な子どもたちのために！……です。開催の際にはぜひご参加ください。

### モニター委員会

委員長：岩下 智

委員：諸星孝夫，谷 博司，関 龍彦，山崎 優

モニター委員会は関東地方会の会員の皆様から、広く様々な視点からご意見を伺うことを目的に会員と幹事会を繋ぐ役割を担っております。モニターの皆様には、モニター会議において会の運営やあり方などについて開業医、大学勤務医、病院歯科勤務医、歯科衛生士などの立場から参考となるご意見をいただき、地方会や本会運営に役立たせていただいております。

令和3年度のモニター会議は、地方会大会と同日にオンラインで行いました。長引くコロナ禍で制約を受けながらの診療に関することや、会場参加とオンラインのハイブリッドで行ってもよいのではというご意見も多くいただきました。オンラインのメリットとしては、お子さんがいる場合や地方からでも参加しやすい、他の地方会にも参加しやすい、旅費がかからず時間の節約にもなるなどがあげられました。デメリットとしては、いつでも見られると思うと見ない時がある、モチベーションが上がらない、セキュリティの心配、より費用がかかるなどがありました。この他、口腔内が汚れている子どもが多い割にう蝕が重症化していないというご意見もいくつかありました。マスクによる口呼吸の影響や、以

前より口腔機能の低下を感じるというご意見もありました。また、専門医機構への移行など今後についての考えもありました。

モニターの皆様ありがとうございました。

## 学術委員会

委員長：伊田 博

委員：関口五郎, 吉中 律, 熊澤海道, 権 暁成,  
島津貴咲

2年続けてのコロナ禍と厳しい中、Web環境が整ってきたことから、Web開催やオンデマンド配信により会員の皆様の参加・視聴が可能となりました。

関連学術大会の参加および今後の活動についてご報告いたします。

①第68回日本小児保健協会学術集会への参加 (Web開催)

大会テーマ『大きな和で育む 子どもの未来』  
日程：令和3年6月18～20日

②第24回日本歯科医学会学術大会への参加 (Web開催)

大会テーマ『逆転の発想 歯科界2040年への挑戦』  
日程：令和3年9月23～25日

③関東地方会主催によるWebセミナー開催

令和3年2月14日, 3月14日, 3月28日の3回の日程で関東9大学講座の先生方にご協力いただきWebセミナーを開催しました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

今後の活動について

①地方会大会における学術的な企画運営への参画  
第36回関東地方会大会ではWebにて開催しました。第37回関東地方会大会でもCOVID-19感染拡大の影響をみて開催形式を検討しながら、企画の協力を行う。

②子どもたちの健やかな粗大値を考える学会・団体との学術的な交流を図る

- ・日本小児保健協会委員会参加
- ・東京小児科医会との共催事業『市民公開セミナー』の参画

・日本保育保健協議会への参画

学術委員会では、これまでの事業の継続と、次年度においてもCOVID-19感染症拡大の影響を考慮しながら、関東地方会大会の企画での学術的な協力および子どもたちの健やかな育ちを考える学会・団体と幅広く交流は図っていきたいと思います。

## 歯科衛生士委員会

委員長：中村佐和子

委員：藤岡万里, 草間里織, 権 暁成, 保田将史,  
島津貴咲

2021年度は、第36回関東地方会大会をWeb開催にて、文教大学教育学部特別支援教育専修教授・日本小児科学会認定小児科専門医・発達脳科学者、子育て科学アクシス代表の成田奈緒子先生による『子どもたちの発達のカギを握る「正しい睡眠」』という題名で、認定歯科衛生士研修セミナーの開催をいたしました。良い睡眠がいかに関連に影響を及ぼし、そのためには子どもたちの生活習慣がいかに関連であるかということを知りやすく教えていただきました。寝る、食べる、といった当たり前のことが、忙しい時代にはつい軽視されがちではありましたが、昨今その重要性が見直されたのではないのでしょうか？

今回は、Webでの開催でしたので認定歯科衛生士更新時のためにキーワードを入れることなどの試みも行いました。このように学会でも大きな変化に対応しているように、コロナ禍における生活様式の変化によって新たな子どもたちとの関わり合いと健康維持を支援していかなくてはならない状況にあります。

来年度の大会に向けて歯科衛生士委員会では、会場での大会開催を目指して、講演は、経験の積まれた方、浅い方にもわかりやすい内容で、臨床の現場で私たちが取り組むべきその新たな視点と対応を考えてまいりたいと思い、委員会にて準備を進めております。

## 学会発表審査委員会

委員長：高橋康男

委員：田中英一，高野博子，田中晃伸，早川 龍，  
浜野美幸，巢瀬賢一，藤岡万里，小方清和

2021年度、COVID-19感染拡大の影響のため第36回関東地方会大会はWeb開催となりました。昨年度、行えなかった本委員会の主たる業務である発表演題および専門医・認定医資格更新ケースプレゼンテーションは事前に行うことができました。

本委員会では発表者の演題登録後、申し込まれた演題内容が医学的、倫理的および社会的に問題ないか審査を行っております。その際、内容修正や取り消しをお願いすることもあります。また、大会発表後の事後抄録に関しても、審査を行っております。

近年、研究活動を行うにあたり審査が厳しくなっており、特にヒトを対象とした研究に関しては多方面からの審査を受けることになり非常に厳しい状況となっております。地方会大会発表でも、研究発表ではそれぞれの所属機関での倫理委員会の承認、症例報告では同意書の取得が必須となります。さらに、発表時にはCOI開示の記載も必要となります。この手順については常に本委員会から順守していただくようお願いしております。詳しくは学会のホーム

ページをご覧ください。

([http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/gakkai/20210716\\_rinrikaitei.pdf](http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/gakkai/20210716_rinrikaitei.pdf))

大会発表は皆さまの日頃の臨床や研究の成果をアピールできる絶好の機会であり、また、スムーズな資格更新にもつながります。様々な条件をクリアしての発表となりますが、学会活動を盛り上げるためにも奮って演題申し込みをお願いいたします。

## 広報委員会

委員長：巢瀬賢一

委員：伊田 博，保田将史，山崎 優，島津貴咲

- ① HP：関東地方会 HP をリニューアルしました
- ② 広報誌発行：毎年、年度末に発行
- ③ メールマガジン：年数回の原稿執筆
- ④ こどもの健康週間事業関連：こどもの健康週間  
2021パンフレット発行

今年度の活動内容は上記の通りです。コロナ禍においてその他の広報、啓蒙活動はほとんど行われていません。

来年度以降は、さらに会員の皆様に有意義な情報を発信できるよう活動していきたいと思っております。

## 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会開催

令和4年1月17日(月)、「令和3年度 関東9大学小児歯科学講座と関東地方会幹事会との懇談会」がZoomによるオンラインで開催されました。懇談会は今回で22回目を迎え、大学からは以下の先生方にご出席いただき、幹事会からも幹事21名、監事2名が参加しました。

出席者(50音順)：朝田芳信教授(鶴見大学)、岩本 勉教授(東京医科歯科大学)、苅部洋行教授(日

本歯科大学)、木本茂成教授(神奈川歯科大学)、清水武彦教授(日本大学松戸歯学部)、白川哲夫教授(日本大学)、新谷誠康教授(東京歯科大学)、船津敬弘教授(昭和大学)、星野倫範教授(明海大学)。

高橋康男副会長の開会に続き、早川 龍会長による会長挨拶が行われました。

「公益社団法人日本小児歯科学会の動き」として、第60回日本小児歯科学会大会について、大会長の白川教授より2022年5月19、20日、幕張メッセ国

際会議場での現地開催プログラム+Web 視聴プログラムの“ハイブリッド形式”にて行うことが報告されました。次に新谷教授から新専門医制度について報告があり、現在の学会認定専門医が廃止され、日本歯科専門医機構認定小児歯科専門医に統一される予定であること、専門医の取得や更新などのルールの変更の詳細は後日、全会員に連絡をする予定であるとのことでした。また、木本教授から臨床研究に対する倫理審査に関して、倫理審査委員会で申請書の記入例などが作成されていることなどが報告されました。

「関東地方会の動き」については、小方清和幹事長より関東地方会会員動向、令和3年度事業概況報告および令和4年度事業計画案についての報告がありました。事業概況報告では幹事会がすべてオンライン開催であったこと、関東地方会のホームページが新しくなったこと、第36回関東地方会大会および令和3年度総会が令和3年10月17日にWeb開催されたことなどの報告がありました。各委員会の活動については、ジョイント4委員会、モニター委員会、歯科衛生士委員会、学術委員会および広報委員会の各担当幹事より報告がありました。第36回関東地方会大会に関して巢瀬賢一大会長よりWebで開催され、約600名が参加したことが報告されました。第37回関東地方会大会の準備状況について、田中晃伸大会長と富永真澄準備委員長より報告がありました。開催日は令和4年10月16日(日)、会場は茨城県取手市の取手市民会館・福祉会館。テーマは『地域小児歯科のLevel Up!』。通常通りの学会開催で準備しているとのことでした。

「各講座・分野からのご意見・ご要望」に関して、鶴見大学の朝田芳信教授からは、来年度4月に多くの新人が入局予定であること、地方会へは新専門医制度に対する開業医の会員の意見をまとめてほしいとのご要望がありました。東京医科歯科大学の岩本勉教授からは、コロナ禍の影響から医局での活動に制限があり難しいことが多くあるということ、小児歯科学雑誌の編集委員長として閲覧数や投稿数を増

やしていきたいとお話がありました。日本歯科大学の荻部洋行教授からは、大学ではリモートで授業を行い、実習は対面で行っているが、学生への教育に苦勞していること、地方会へは大会での発表に対する謝礼金の取り扱いについて規定した方が良いのではないかとのご意見を頂きました。神奈川歯科大学の木本茂成教授からは、大学はリモートと対面のハイブリッドで授業が行われていること、5年生の臨床実習では自験症例を必修化し積極的に行っていること、日本歯科専門医機構の役員としてのお立場から、専門医制度の現状についての説明がありました。日本大学松戸歯学部の清水武彦教授からは、日本大学での現在の取り組みについてのこと、また、医療事故調査制度の研修会が2月に開催されるとの紹介がありました。日本大学歯学部の白川哲夫教授からは、新校舎の工事が完了し移転作業中であること、7月からは学生の講義も新校舎で行う予定であること、会議室が新しくなり、学会の会議で使いたい時は協力できること、地方会へは第60回記念大会では引き続き協力をお願いしたいとのことでした。東京歯科大学の新谷誠康教授からは、大学ではオミクロン株の拡大前はほぼ通常通りに対面授業を行っていたこと、しかし、現在は再び規制がかかってきたこと、アジア小児歯科学会が2022年4月にオンラインで開催されることが報告されました。また、専門医の更新に際して、指導医の先生方には十分に指導を行っていただきたいとのご要望がありました。昭和大学の船津敬弘教授からは、学生教育は4年生までの講義はリモートで行っていたこと、6年生の講義は学習効果を考慮し対面で行っていたこと、医局では男性医局員が増えてきていること、学術大会では対面でお会いしたいとの要望があることが報告されました。明海大学の星野倫範教授からは、学生指導に関して4年生までの講義はリモートと対面のハイブリッドで行ったこと、実習は対面で行ったこと、5年生の臨床実習は通常通り行えたこと、6年生は対面で授業を行ったこと、ただ、学内でCOVID-19の感染者がでたことから対応に追われて

いることが報告されました。  
最後に浜野美幸副会長の閉会の挨拶で終了となり

ました。

## 各地方会大会開催案内

### 第40回日本小児歯科学会北日本地方会 大会および総会

日 時：令和4年11月26日（土）～27日（日）  
会 場：北海道歯科医師会館  
大会長：齊藤正人  
準備委員長：倉重圭史

大会テーマ：「個性を育む」  
（講演者、講演内容等は未定）  
大会事務局：北海道医療大学歯学部口腔構造・機能  
発育歯学系小児歯科学分野  
〒061-0293  
北海道石狩郡当別町金沢1757

### 第41回日本小児歯科学会中部地方会 大会および総会

日 時：令和4年10月9日（日）  
会 場：富山国際会議場  
大会長：佐野正之  
準備委員長：渡邊淳一

大会テーマ：「夢を追いかけるのは子ども達だけで  
しょうか？」  
（講演者、講演内容等は未定）  
大会事務局：さの小児歯科医院内  
〒939-0341 富山県射水市三ヶ 2436-2  
Tel：0766-57-8071  
Fax：0766-57-8091  
E-mail：jspd41chubu@gmail.com

### 第41回日本小児歯科学会近畿地方会 大会および総会

日 時：令和4年10月23日（日）  
会 場：大阪歯科大学 くずは学舎  
大会長：竹安正治  
準備委員長：新門正広

大会テーマ：「人生100年時代に生きる子どもたち  
の健康歯援」  
（講演者、講演内容）  
1) 特別講演：「予防歯科について」 杉山精一先生  
2) 衛生士セミナー：「モンスターペイシェント・ペ  
アレントについて」 田村勇人先生  
3) 教育講演：「防災について」 野村功次郎先生  
大会事務局：竹安歯科医院  
〒573-1106  
大阪府枚方市町楠葉1-6-15  
TEL・FAX：072-855-3694

### 第41回日本小児歯科学会中四国地方会 大会および総会

日 時：令和4年11月20日（日）  
会 場：徳島大学大塚講堂  
大会長：阿部敬典  
準備委員長：上田公子  
大会テーマ：「人生を時系列で見た中での小児歯科  
のあるべき姿」

(講演者, 講演内容)

- 1) 特別講演:「人生 100 年時代, 小児期をどのように過ごすか (仮題)」 藤木省三先生 (日本ヘルスケア歯科学会 前副代表・神戸市開業), 高橋啓先生 (日本ヘルスケア歯科学会 副代表・愛媛県開業)
- 2) 教育講演(特):「小児虐待について (仮題)」 阿部孝典先生 (住友別子病院 小児科長)
- 3) 教育講演(監):「子どもたちが上手に噛める・食べられる・呼吸できるようになるには (仮題)」 柿崎陽介先生 (宮崎県開業)

大会事務局: 徳島大学大学院医師薬学研究部 (歯学域) 小児歯科学分野

## 第 41 回日本小児歯科学会九州地方会 大会および総会

日 時: 令和 4 年 11 月 13 日 (日)

会 場: 福岡県歯科医師会館

大会長: 福本 敏

準備委員長: 小笠原貴子

大会テーマ:「人生 100 時代に向けた小児歯科医療  
の新たな展開 ~持続可能な口腔管  
理とは~」

(講演者, 講演内容等は未定)

大会事務局: 九州大学大学院歯学研究院 小児口腔  
医学分野

### 〈日本小児歯科学会関東地方会〉 令和 2~3 年度 委員会委員長

ジョイント 4 委員会	藤岡 万里
学術委員会	伊田 博
モニター委員会	岩下 智
歯科衛生士委員会	中村佐和子
学会発表審査委員会	高橋 康男
広報委員会	巢瀬 賢一

### ■編集後記

私にとって毎年発行されるこの会報は, これまで読むものであり続けました. しかし, 今号は編集する側となり思い出に残るものとなりました. 初めての作業に戸惑いもありましたが, 多くの方に助けていただきながら無事発刊できたことに安堵しております. 会報の作製に関わったすべての方々へ, この場を借りて厚く御礼申し上げます.

コロナ禍のため人との交流に制限がかかり, 学会の動向の把握に苦慮されている方が多いのではないのでしょうか. 本稿がその一助になることを期待したいと思います.

最後までお読みいただきありがとうございます. 次号も温かく見守っていただければ幸いに存じます.

(保田将史 記)

令和 4 年 (2022) 2 月 22 日 印刷

令和 4 年 (2022) 2 月 25 日 発行

発行者 早川 龍

発行所 日本小児歯科学会関東地方会 会報編集委員会

〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29

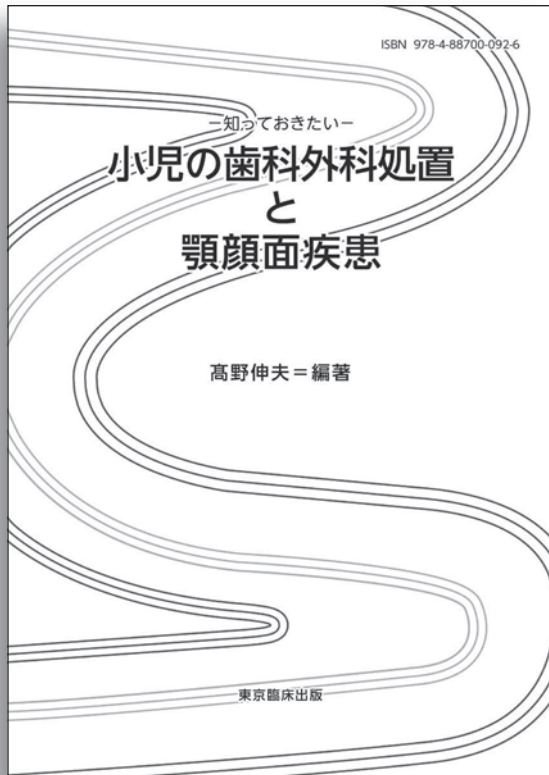
東京都立小児総合医療センター 小児歯科

日本小児歯科学会関東地方会事務局 TEL 042 (300) 5111

### 〈お知らせ〉

住所変更, 姓変更は本会事務局では取り扱っておりません.  
必ず口腔保健協会 〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9  
TEL 03 (3947) 8891 (代) へお願い致します.

# 書籍案内



—知っておきたい—

## 小児の歯科外科処置 と 顎顔面疾患

高野伸夫 = 編著

口腔は時にその中のさまざまな小器官より先天的あるいは後天的な異常が発現し、小児の発育程度を考慮に入れたさまざまな外科処置が必要になることがある。

本書では代表的な歯科外科処置についてわかりやすく解説する。術者は復習の意味から、また、介助者は安全で的確な治療を支えるために参考にしていただきたい。

■ A4判 / フルカラー / 134ページ  
定価：2,530円 (2,300円+税)

小児歯科の今と明日を見つめて—。

## 月刊 JDC 「小児歯科臨床」

毎月1日発行 / 編集協力：全国小児歯科開業医会 (JSPP)

### 本誌の主な内容

#### ■情報の視野を広げる充実のシリーズ

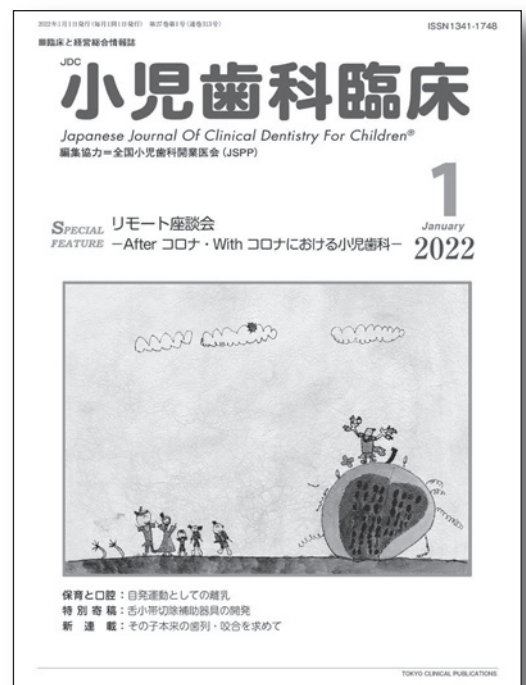
- 巻頭特集 ○臨床研究・臨床報告 ○エッセー ○活動報告
- 連載 保育と口腔・考 —保育という観点から口腔機能をみる—
- 連載 小児歯科における保険請求
- 連載 子どもの心とどう関わるか
- 連載 世界と本邦の小児歯科の歴史

#### ■ A4判変型 (フルカラー)

〔定価〕 3,080円 (2,800円+税)

年間購読料 (12カ月) 39,600円 (33,600円+税)

毎月お手元に—。 



# 予防矯正は 3歳から？

それは可能だ！



THE TONGUE  
舌の挙上



THE NOSE  
健全な鼻呼吸



THE LIPS  
口唇閉鎖



機能的諸問題の教育・訓練に使用し形態と機能の相互関係に作用して本来の正常な成長を促進します。



To find out more  
consult your practitioner.

## EF Line®



orthoplus®  
prepare the future

オーソデントラム

米国オーソオーガナイザーズ社・独国デントラム社総代理店  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-7-15 日本橋トグチビル 2F  
TEL.03-5652-3322 FAX.03-5652-3393 URL <http://www.ortho.co.jp>